

初めて、移動局として電波伝播試験に参加して (B Y J K 1 S B K)

移動運用については、今まで久保田OMと比良の丘で行って来ましたが、2月にクレーマによりP騒ぎが有り、使用出来なく成った為、移動運用が出来る所を探して東大和郷土博物館屋上、狭山公園駐車場、福生南公園、六道山公園等見つける事は出来きました。また、フルサイズのD Pアンテナを張れる場所は限られるので、モバイル用アンテナの調達も併せて実施し、電波伝播試験参加の準備をしました。ちなみに、モバイルアンテナは、D i a m o n dのHFセンターローディングの14M、50M、18Mアンテナを調達しました。50Mは、HF6CLを用意して、実際に狭山公園で、車の屋根にアンテナを設置し、波を出して木村OM、並びに久保田OMとのQ S Oを実施して、伝播状態を事前にチェックしました。

初めての移動運用局と云う事で、家から移動地までの距離が近く、周りが開けていて障害物の無いロケーションの良い所を選定し、狭山公園駐車場に決定しました。なお、当公園は、過去に車のタイヤを使ってポールを立てての運用は禁止されていて、車の外にはみ出さなければOKと云う事を、公園に移動運用で来られていた都内のOMさんから聞きました。

伝播試験当日は、公園の駐車場の開門がAM5：30でハイキングの方々が車で来て停めて行くので、空気が無く成っては伝播試験に参加出来なくなると思い、公園にAM6時過ぎに着けるように家を出て現着出来ました。公園に着いたらまず、マグネット基台を車のサンルーフを開いてセットし、その後、アンテナを組み立てアンテナを基台にしっかり取り付け、念のためにN a n o v n aでSWR値を測定した所、共振点が46M付近、SWRは4以上で、普段使っている値からはかけ離

れた異常値を示した為、” どうしたんだろう ” ” 何で ” とパニックの状態に成り、コントロール局の久保田OMに、受信は可能ですが、送信がH i S W Rで出来ない旨、携帯で伝えました。

その後、普段マグネット基台を使っている中で、前から同軸ケーブルのMP部分がちゃんと繋がっているのかなと云う違和感が有ったので、ケーブルの網線とMPコネクタ部分をペンチでカシメて、再度N a n o v n a でS W R値を測定しましたが変わらず、再度コントロール局の久保田OMに連絡し、受信は出来るのですがと伝えた所、受信が出来ているのなら、アースが浮いてるのではないかと云うアドバイスを頂き、マグネット基台からアンテナを外して見た所、基台を止めているナットが弛んで居るのを発見。不具合の箇所はこれかなと思いながらアンテナを取付、N a n o v n a でS W R値を測定した所、普段使っている値に落ち着きひと安心しました。直ぐに、この旨をコントロール局の久保田OMに、送信・受信も可能と連絡し無事に伝搬試験に参加出来る環境が整いました。

久保田OMには、いつもいつも、的確なアドバイス頂きありがとうございます。

大感謝です！！事前に用意は” 完璧 ” と慢心してました。反省その1！！

R I Z 富山OMのコントロールの元、7時の予備試験から始まり9時の本試験にスケジュール通り進んで行きました。私は、富山OM、久保木OM、木村OMとQ S O出来ました。後日試験終了後、池OMから私と木村OMのシグナルは、5 1で入感していたけど、自分のリグの調子が悪く（送信出力が上がらず）Q S O出来なかったと聞きました。また、岸田OMともQ S O出来なくて残念！！なお、コントロール局と0エリアのOMとのQ S Oが不可能の為、久保木OMがリカバーされ、0エリアの西田OM、東山OMとQ S O出来、無事に伝播試験も終了しました。

久保木OMナイスリカバー！！お疲れ様でした。

次年度の電波伝播試験には、是非、今まで伊豆の松崎によく遊ぶに行っていて、現場の様子が大体把握出来ている、西伊豆スカイラインの達磨山登山口近くの駐車場から参加したいなと思っています。